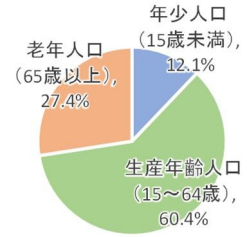


	世帯数	人 口	年 齢 別 人 口
現 在	322 世帯	809 人	15 歳未満 (年少人口) 98 人
			15～64 歳 (生産年齢人口) 489 人
			65 歳以上 (老年人口) 222 人
約 50 年前	146 世帯	646 人	



**地名等**

地名は、市川の中州なかすに由来すると言われています。

古代律令制では播磨国神前郡川辺里かわのべのさとに含まれたと考えられます。平安時代末期の平治の乱の後、敗れた源義朝みなもとのよしともの家臣の一人が西国巡回の途中、中島の地で重い病に倒れ、当地の薬師庵やくしあんで病気の回復と主家の再興を祈願し、後に、薬師如来を祀る金剛堂こんごうどうを寄進したことが伝わります。この金剛堂は、五合ごごうの米を供えて願い、その米を持ち帰って食べると乳の出がよくなるという逸話いつわから、五合堂ごんごうどうと呼ばれるようになったと伝わります。

中世は田原荘たわらのしやうに含まれたと考えられ、近世は豊臣氏の領地となった後、慶長5年(1600)からは姫路藩領となり、大庄屋組では、はじめは八反田組はつたんだぐみ、寛延2年(1749)の一揆後の寛延3年(1750)からは御立組みたちぐみに属しました。明治9年(1876)に南田原村の一部となりました。近代には瓦の製造が盛んで、中島には4軒の瓦製造所がありました。



※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物	建築物	1	上中地藏堂	不明	木造平屋建・瓦葺で、桁行5m・梁行6m。加西市久保田町から購入して移築されたもの。棟札があり、昭和6～7年(1931～1932)に改修した記録が残る。中島区(上中島)が所有・管理している。					
	石造物	2	地藏菩薩坐像(中島墓地)	天和3年(1683)	地藏菩薩の石仏。正面には像容とともに、延宝3年(1675)に中島村の七人で伊勢参りか何かを行った記念として天和3年(1683)に造立したことが記されている。					
		3	地藏菩薩(寺居地藏堂)	延享2年か(1745)	地藏菩薩の石仏。正面に像容とともに「禰西念信士 月雲浄土増士」、左側に「享保十八丑八月九日」、右側に「延享第二丑二月八日」と記されている。顔は風化が進んでいる。					
		4	写経塔(中島墓地)	寛政4年(1792)	写経塔。正面には「奉書写法華塔」、右に造立年月日、左に施主が記されている。					
		5	写経塔(中島墓地)	文化6年(1809)	写経塔。正面には「奉書写法華塔」、右に造立年月日、左に施主が記されている。					
		6	三界万霊塔(中島墓地)	文化6年(1809)	地藏立像の台石として使われている三界万霊塔。正面には「三界万霊」、右に造立年月が記されている。					
		7	石灯笼(與位神社)	昭和11年(1936)	左右一対の石灯笼。右灯笼の正面に「献」、左灯笼の正面に「灯」、いずれも背面に造立年月が記されている。台石の正面には「氏子中」と記されている。					
		8	手水石(與位神社)	天明6年(1786)	手水石。正面に「天明六丙午歳十一月 氏子中 中島 西光寺」、側面に世話人が記されている。境内片隅に置かれている。					
		9	狛犬(與位神社)	昭和11年(1936)	石造の狛犬。頭、胴体、尾の3分体に破損し、境内片隅に置かれている。					
		10	井筒(與位神社)	昭和16年(1941)	井筒。正面に「昭和十六年十月 中島 氏子中」と記されている。「漱盥」と彫られた手水石もある。					
		11	百度石(與位神社)	不明	百度石。「牛尾久平」と記されている。					

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	12	雨水受（與位神社）	昭和 11 年 (1936)	雨水受。左右一対のうちの 1 つが残る。正面に「猷」、背面に「辻川尾上政治」と記されている。				●		
	13	石柱（與位神社）	大正 15 年か (1926)	「幣帛供進使参向一ノ宮與位神社神明所記」と記されている。大正 15 年（1926）6 月 19 日付の神饌幣帛料供進神社指定の公文書が残り、これを記念して造られたと考えられる。				●		
	14	石柱（與位神社）	昭和 7 年 (1932)	正面に「當村青年団 女子青年団」、側面に「昭和七年十二月建設」と記されている。				●		
	15	石柱（上中地藏堂）	大正 8 年 (1919)	正面に「本堂敷地 寄付者 牛尾安麻呂」、右側面に「本堂敷地百〇六坪」、左側面に「大正八年七月建之」、背面に世話人 4 名の名が記されている。				●		
	16	石鳥居（與位神社）	大正 14 年 (1925)	與位神社の南、約 350m の場所にある。右柱正面に「奉 大正十四年再建」、左柱正面に「猷 中島区伊勢講中」と記されている。右柱背面に「銀婚式記念」とあることから、大正天皇を祝ったものと思われる。				●		
美術工芸品	絵画	17	涅槃掛軸（五合堂）	安政 5 年 (1858)	薬師庵（五合堂）庵主観光尼によってあつらえられた。				●	
	彫刻	18	薬師如来像（五合堂）	不明	金剛堂（五合堂）建立の伝承に関する薬師如来像と思われる。				●	
		19	阿弥陀如来像（五合堂）	不明	五合堂の本尊の阿弥陀如来像。元は與位神社に祀られており、明治初めにねり坂の鳥居横の小さな祠に移された後、明治 27 年（1894）に五合堂へ移されて祀られている。				●	
	工芸品	20	瓦製狛犬（與位神社）	不明	土造りで瓦窯で焼成した高さ 40 cm ほどの狛犬。この他、木彫狛犬もあったが、平成 7 年（1995）の火災で焼失して現存しない。				●	
	書跡・典籍・古文書・歴史資料	21	中島区有文書	—	中島区の村文書。2013 年度に中島区からの依頼により福崎町教育委員会が現状確認調査を実施した後、2018 年度から神戸大学人文学研究科地域連携センターとの共同による整理・詳細調査が実施された。		●			

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
有形の民俗文化財	祭具	22	屋台（中島区）	—				●		●
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	23	秋祭り（田原）	—			●	●		●
		24	涅槃	—				●		
		25	春彼岸	—				●		
		26	花まつり	—				●		
		27	四万六千	—				●		
		28	湯立・川裾祭り	—				●		
		29	盆祭り	—				●		
		30	施餓鬼供養	—				●		
		31	とんどまつり	—				●		
		32	七夕祭	—				●		
		33	地藏祭	—				●		
遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡等	34	南田原条里遺跡	弥生時代 ～奈良時代		●				

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

中 島

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
遺跡	古道・街道等	35	生野鉦山寮馬車道	明治9年(1876)	生野鉦山(朝来市)と飾磨津(姫路市)を結ぶ全長49kmの馬車道。鉦山物資等を運ぶための産業道路として、明治6年(1873)に計画し、明治9年(1876)に完成した。当時の道路構造を保つところは少ないが、現在も道路として使用され、当時の道筋を知ることができる。					●	●
動物・植物・地質鉱物	植物	36	與位神社の森	—	與位神社の社叢。樹木数は多くないが、巨樹が立ち並び、平坦地に位置するため、まとまった緑が地域のランドマークになっている。					●	
		37	ナナミノキ(切株)	—	與位神社境内に位置し、福崎町の保存樹に指定されていたが、枯死したため伐採され、平成21年(2009)に指定解除された。切り株が現存する。		●				
文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地	38	長池	—	もとは葦が生い茂った沼沢地で、北の旧長池と南の旧左衛門池からなっていたが、明治13年(1880)に雲津川から導水して両池に貯水され、周辺農地の用水源となった。大正初期に両池を統合し、昭和15年(1940)に拡張して、現在の長池の原型が誕生した。秋から春にかけては野鳥の越冬地となっている。				●		
その他	信仰の場	39	與位神社	—	須佐之男命、櫛名田比売神を祭神とする中島区の氏神。田原荘の一之宮神社とも呼ばれ、周辺住民からも敬神されてきた。本殿は、平成7年1月の焼失後、翌年9月に再建されたもので、その際、交通安全を願って道之長乳齒神を合わせ祀った。					●	
		40	川裾神社	—	與位神社の境内社。					●	
		41	上中地藏堂	—	上中島公民館前に位置し、七夕祭や地藏祭などが行われる。					●	
		42	中蔵地藏堂	—	8月23日には地藏祭が行われる。					●	
		43	五合堂	—	源義朝の遺臣大久保馬之祐が、仏の恩報謝、武運長久の思いを込めて建てたという伝承が残る。金剛堂と称したが、米5合を供えて願うと乳の出が良くなるという伝承から、五合堂と呼ばれるようになったという。					●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りや信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり					
				①	②	③	④	⑤	⑥
その他 民間説話・ 地名・伝承 地・屋号等	44 狐のくれた鯛	—	西光寺野の狐の話。お産に困った狐が人に化けて、医者に頼み、無事に子どもを産むことができた。お礼に後日鯛が届けられたが、その鯛は狐が魚屋から盗んだものだったという。 ※『かたりべ 第1集』23-25頁、『福崎ものがたり I』13-15頁				●		
	45 鳥居林	—	與位神社の南約 500mに通称「鳥居林」という場所があり、大正年間に鳥居が建てられていた。『神崎郡誌』にも鳥居の古跡があり、天明・寛政（1781～1801）の頃に、その切り株を残したことなどが記されている。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

歴史文化遺産の保存・活用の取組等

- ・中島伝統文化保存会を組織し、中島の伝統文化の保護・継承のため、子どもへの屋台太鼓教室などを実施しています。
- ・平成30年度から区の古文書整理を住民の手により継続して取り組んでいます。令和2年度には成果報告として公民館において「～中島の文書整理から知る～中島の明治・大正・昭和の暮らし」展を開催し、講演会や子どもたちと区内を巡る「中島子ども探検隊」を実施しました。また、令和4年度には「中島区文書整理から分かった 中島の歴史」展を開催しました。



中島区有文書整理会



中島子ども探検隊



令和2年度中島区展示チラシ